

トピックス 「第30回鉄道総研講演会」を開催しました

鉄道総研は「第30回鉄道総研講演会」を下記により開催いたしました。最近、巨大地震や過去に例を見ない局所的強雨などの自然外力による大規模な被害が顕著です。鉄道においても大規模な自然災害に対する安全性を高めるための対応が求められています。一方、これらの自然外力の変化について、全国的な地震観測網の整備や新しい地震早期検知手法の導入、また、気象観測機器の高性能化や気象予測手法の精度向上により、短時間に高精度で把握・推定することが可能となりつつあります。そこで、鉄道総研講演会では「鉄道の安全性を高める防災技術－自然外力の急変

を捉え備える－」をテーマに開催し、鉄道事業者をはじめ官公庁、大学、一般企業などから約570名の方々にご聴講頂きました。

講演会では、京都大学防災研究所教授 中北英一様から「最新型気象レーダーによる豪雨の観測と早期探知・予測－鉄道の安全運行に向けて－」と題した特別講演を頂きました。その後、防災技術に焦点を当て、気象および地震情報の活用による災害対策や安全性向上などについて鉄道総研の研究開発の考え方、方向などを基調講演にて、また具体的な研究開発の取り組みを講演にてご紹介しました。

記

1. 開催日時：平成29年11月8日(水) 13時00分から17時25分
2. 開催場所：有楽町朝日ホール(東京都千代田区有楽町)
3. プログラム

■開会の挨拶

会長 正田英介

■特別講演「最新型気象レーダーによる豪雨の観測と早期探知・予測－鉄道の安全運行に向けて－」

京都大学防災研究所 教授 中北英一 様

■基調講演「自然外力の急変を捉え備える防災技術」

理事 芦谷公稔

■「地震防災のためのリアルタイム地震情報の活用」

鉄道地震工学研究センター 地震解析研究室長 山本俊六

■「鉄道構造物の災害対策と早期復旧」

構造物技術研究部長 神田政幸

■「強風・地震に対する車両の走行安全性向上」

鉄道力学研究部長 曾我部正道

■「短時間に強く降る雨による土砂災害を防ぐ」

防災技術研究部長 太田直之

■「リアルタイムハザードマップの構築」

研究開発推進部 主管研究員 鈴木浩明

■閉会の挨拶

理事長 熊谷則道

